



第77巻 第4号

史学・地理学・考古学

論 説

- 縦目仮面, 「燭龍」と「祝融」……………徐 朝 龍 (1)
 ——三星堆文明における青銅
 「縦目仮面」と中国古代神話伝説との接点——
- 弥生時代における地方間交流……………伊 藤 淳 史 (38)
 ——伊勢湾地方弥生土器の型式変化と移動——
- 柳田民俗学と東大新人会……………鶴 見 太 郎 (80)
 ——大間知篤三を中心に——

研究ノート

- ドイツ初期敬虔主義思想の再検討……………中 谷 博 幸 (113)
 ——シュペーナーの *Erbauung* 観——
- 「^{じかた}地方測量之圖」小考……………山 崎 孝 史 (132)
 ——絵師ははたして北斎か——

書 評

- 大戸千之著『ヘレニズムとオリエント
 ——歴史のなかの文化変容——』……………春 田 晴 郎 (149)
- 藤縄謙三編『ギリシア文化の遺産』……………栗原麻子, 小林功, 桑山由文 (156)
- 森田安一著『ルターの首引き猫』……………渡 邊 伸 (162)

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

会 告

去る六月九日に開催されました史学研究會理事・評議員会におきまして、左記の事項が可決、承認されました。

記

一、平成五年度 決算報告

一、平成六年度 予算案

一、役員交替

(1)理事長 朝尾直弘、常務理事 夫馬進、理事 上横手雅敬、応地利明、古屋哲夫、評議員 熱田公、網野善彦、伊藤貞夫、中島義一、村井康彦氏の退任。

(2)理事長に服部春彦、理事に飛鳥井雅道、金田章裕（評議員より）、山田誠（評議員より）、評議員に岡村秀典、笠谷和比古、樺山紘一、久保一之、水田義一、武藤直氏を選任。

(3)常務理事に山一郎氏を選任（評議員より）。

(4)旧理事長 朝尾直弘氏は理事に、旧常務理事夫馬進氏は評議員に復帰。

『史林』投稿規定

本誌の投稿規定は次の通りです。

◇資格 本会会員であること。

◇投稿受付原稿の種類、長さ

○論説 四〇〇字詰八〇枚以内

○研究ノート 四〇〇字詰五〇枚以内

○研究動向 四〇〇字詰五〇枚以内

○書評 四〇〇字詰二〇枚以内

○紹介 四〇〇字詰三枚程度

◇論説には四〇〇字以内の「要約」と「欧文要約」を添付のこと。

◇研究ノート・研究動向・書評には、「欧文タイトル」のみ添付のこと。

◇注は各章末に入れること。

送り先 史林編集委員会

〒六〇六 京都市左京区吉田本町

京都大学文学部内

御注意

図表、あるいは特殊活字を掲載する場合には、その印刷経費の一部を負担していただくことがあります。また、図版の詳しい投稿規定は第七七巻第三号一五九頁にあります。

編集後記

会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。七七巻四号をお届けします。史学・地理学・考古学の各分野の秀作を集めることができました。ご吟味のほどお願い致します。

日本をとりまく政治・経済情勢は、全く先行不透明で、社会党の村山首相の誕生劇も、何かしらこっけいに見えたのは私ばかりではないはずです。今こそ歴史を動かす主体はどこにあるのか、各人がそれぞれに考え直す時ではないのでしょうか。（た）

本誌には文部省科学研究費補助金研究成果公開促進費が交付されております。

一九九四年六月二五日印刷 定価二二〇〇円
一九九四年七月一日発行 送料六〇円

史 林 第七七巻第四号（通巻三六六号）

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内

発行人

史 学 研 究 会

振替京都〇二〇七〇二五五番
理事長 服 部 春 彦

印刷所

京都市下京区七条御所ノ内町五〇
中村印刷株式会社

史学研究会大会・総会のお知らせ

左記のごとく、本年度の史学研究会大会および総会を開催いたしますので、多数御出席下さい。

日時 平成六年十一月二日（水）午後一時
場所 京大会館

京都市左京区吉田河原町一五―九
電話（七五二）八三一―

公開講演

「ローマの平和」考

新田 一郎

知られざる吉野作造

松尾 尊 発

なお昨年度より大会・総会は、右記のごとく京大会館にておこなうことになりました。従来の楽友会館とお間違えのないよう御注意ください。京大会館へは、市バス東一条下車ののち南西に入るか、京都バス荒神橋下車ののち北東へ入るのが便利です。

史学研究会

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. LXXVII No. 4

July 1994

CONTENTS

Articles :

- XU Chaolong: Eject-Eyed Masks from the Sanxingdui Site
and Their Place in the Myths of Ancient China (1)
- ITO Atsushi: Regional interaction during the Yayoi Period (38)
—Typological Changes in, and movement of, Yayoi
Pottery in the Isewan Region—
- TSURUMI Taro: The Folklore Studies of Yanagita Kunio and
Todai Shinjinkai : With special reference to Omachi Tokuzo (80)

Notes :

- NAKATANI Hiroyuki: Rh. J. Speners Lehre von der Erbauung.
Die Grundgedanke im frühen Pietismus (113)
- YAMAZAKI Takashi: A Note on "Surveying a Region
(*Jikata sokuryō no zu*)" by Katsushika Hokusai (132)

Book Reviews :

- OTO Chiyuki: Hellenism and Orient—the Cultural
Transformation in History (HARUTA Seiro) (149)
- FUJINAWA Kenzo (ed.): The Legacy of Greek Culture
(KURIHARA Asako, KOBAYASHI Isao, KUWAYAMA Tadafumi) (156)
- MORITA Yasukazu: Die luterisch strebkatz: the Reformation
as seen in the Woodcuts (WATANABE Shin) (162)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386—9369